

**製品名: NCF4 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe03135**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.54mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 39 kDa; Observed MW: 39 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	NCF4
別名	NCF; CGD3; P40PHOX; SH3PXD4
遺伝子 ID	4689
SwissProt ID	Q15080
免疫原	ヒト p40-phox の合成ペプチド

**背景**

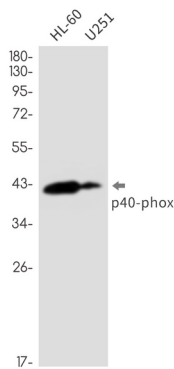
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、スーパーオキシド産生食細胞 NADPH オキシダーゼの細胞質調節成分であり、宿主

防御に重要な多成分酵素系である。このタンパク質は骨髄系細胞で優先的に発現する。主に好中球細胞質因子 2 (NCF2/p67-phox) と相互作用し、好中球細胞質因子 1 (NCF1/p47-phox) と複合体を形成する。この複合体はさらに低分子 G タンパク質 RAC1 と相互作用し、細胞刺激によって膜に移行する。この複合体は、酵素系の膜統合触媒コアであるフラボシクロム b を活性化する。このタンパク質の PX ドメインは PI(3)キナーゼのリン脂質産物と結合できるため、PI(3)キナーゼを介したシグナル伝達において役割を果たしていると考えられる。このタンパク質のリン酸化は、酵素活性を負に制御することが明らかになった。異なるアイソフォームをコードする、選択的にスプライシングされた転写産物変異体が観察されています。

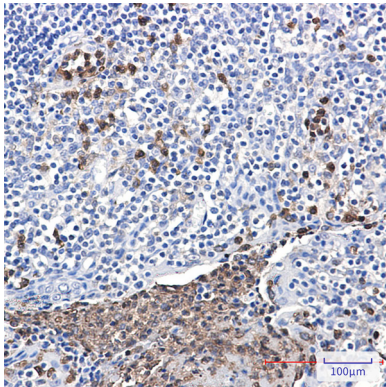
## 研究分野

-

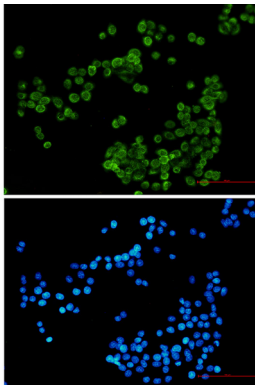
## 画像データ



NCF4 抗体を使用した HL-60、U251 溶解物中の p40phox のウエスタン プロット分析。



p40phox 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



p4phox 抗体と DAPI (青) を用いた Hela 中の p4phox (緑) の免疫細胞化学分析

